

名建築

石川県立図書館



SANKO WORKS

東京・南関東・名古屋エリア



撮影：佐武浩一

SANKO TECH

ちょっとやさしい技術のはなし



FOCUS ON ARCHITECTS

藤原徹平さんに聞く



石川県立図書館



めくるめく空間で
本を探し、本を読み、本と出会う

南側から見た外観。アースカラーのタイルが貼られたコンクリートパネルとガラスのカーテンウォールが雁行して配置されている。外壁のめくれた形状は本をめくる様子をイメージ。屋上の円形屋根の部分、外周部のキャノピーにR-T工法が使われている

(写真：北國新聞社)

株式会社環境デザイン研究所



会長
仙田 満 氏

■伝統文化が育まれた

金沢にふさわしい図書館

2022年7月にオープンした「石川県立図書館」は、2017年に石川県によるプロポーザルによって私たちが設計者として選ばれました。敷地は金沢市内の金沢大学工学部の跡地であり、隣には市によって金沢美術工芸大学が建設される計画でした。県からは、伝統的な工芸文化が育まれてきた石川の文化活動、文化交流の場となるようにしたいという要望がありました。

私たちはこの図書館を設計するにあたり、コンセプトを「知の殿堂—知の玉手箱 めぐる・めくる・めくるめく図書館」と掲げました。四角い箱状の外観を玉手箱のように、そして雁行する外壁パネルは本のページに見立て、その外壁パネルのめくれた形状は、ページをめくる様子を表現しています。図書館の周辺が住宅街ということもあり、外構には豊かな緑を設け、外壁パネルには金沢の古いまち並みに見られる落ち着いたアースカラーのタイルを貼っています。

建物は地上4階、地下1階からなり、地下1階には書庫、1、2階の前面には文化交流エリア、1～4階には開架書架を設置しています。

天井ルーバーのスギ板、床材の能登ヒバ材など内装には県産材を使用し、また石川県をはじめ国内外の伝統文化や自然環境についての資料を展示・解説するスペースも設けられています。

■大空間で散策するように 本を見つける

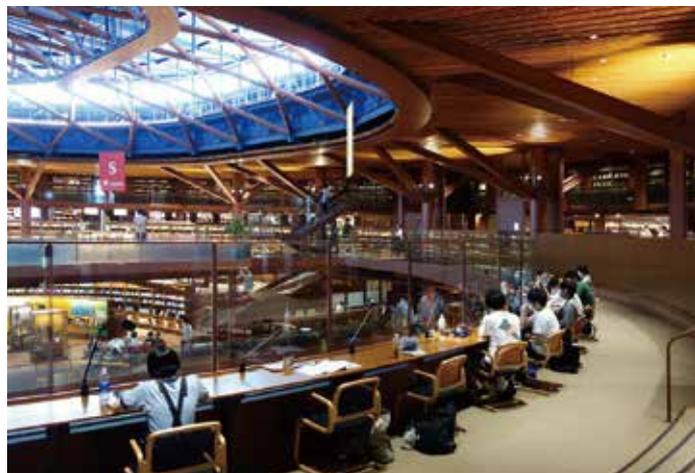
この図書館の最大の特徴は、1階から4階までを貫く、まるで劇場のようなすり鉢状の大円形閲覧空間「グレートホール」。フロアが各階で分かれているのではなく、スロープや階段でつながる連続した吹き抜け空間です。1階から見上げると、段状の書架に収まる多くの本が目飛び込みます。利用者はそれらの書架をつなぐ円形のスロープで3階まで回遊できます。車椅子利用者はもちろん誰もが利用しやすいようにユニバーサルデザインを徹底しています。そして書架の近くに置かれている椅子に座って、手に取った本をすぐに読むことができます。このグレートホールは、私が以前から研究してきた、循環したりめぐったりすることによって知的好奇心を喚起する「遊環構造の理論」を取り入れて空間を構成しま



グレートホール（大閲覧空間）段状に配置された書架をスロープがつないでいる



グレートホールの書架には約7万冊の本を配架。利用者が探しやすいように分類されている



グレートホールを見下ろす、3階の閲覧スペース

した。これは私たちが2008年に秋田で手がけた「国際教養大学中嶋記念図書館」の進化形でもあるといえます。

グレートホールに配架された7万冊の本は、この図書館で独自に設けた12のテーマに分類、配置されています。書架にはそのテーマを表示したサインを施し、利用者が探している本に行き着きやすいようになっています。

スロープをはじめ館内には、家具デザイナーの川上元美さんがデザインされた

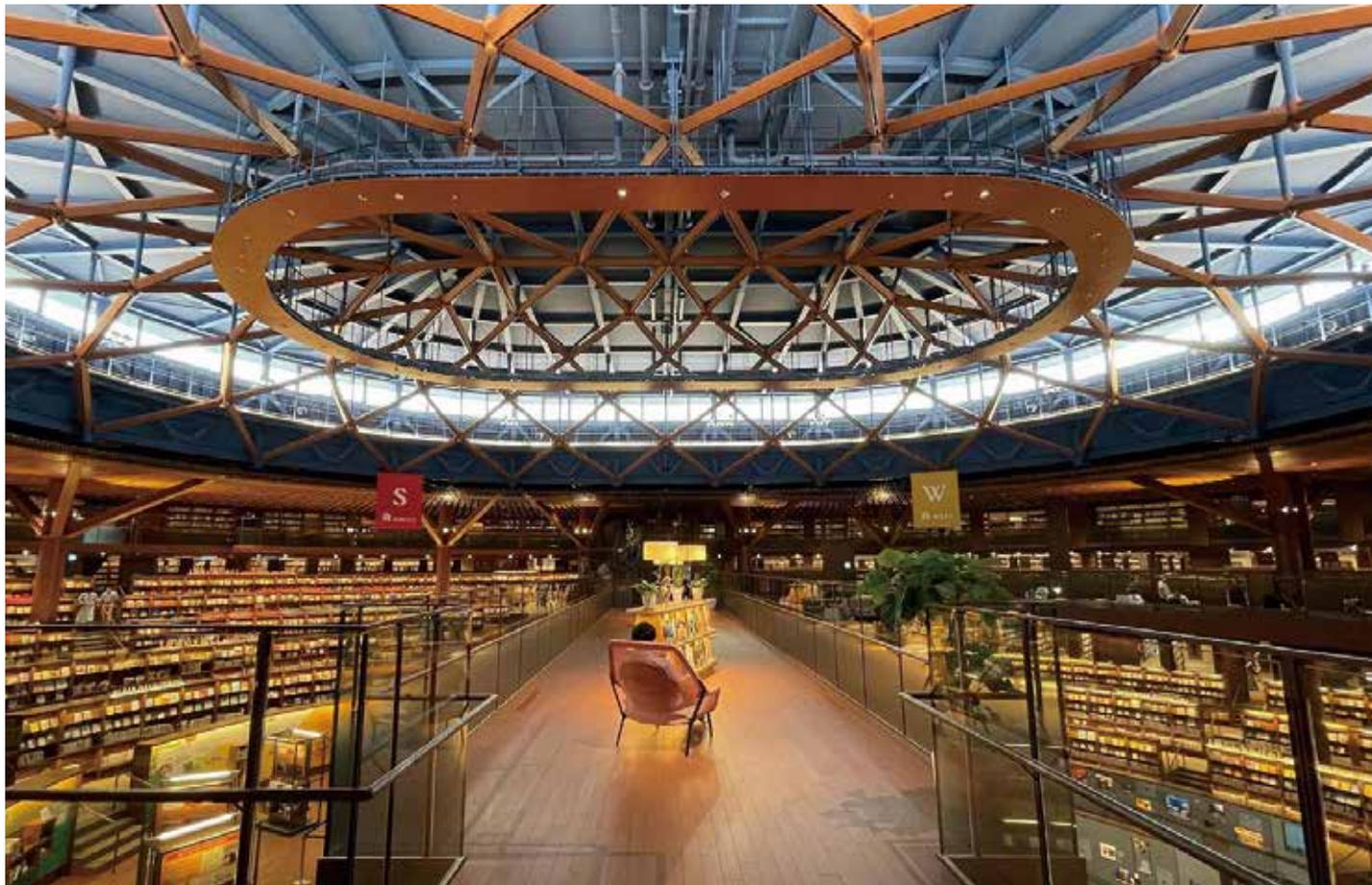
ものをはじめとするいろいろなタイプの椅子が置かれています。また、大空間の中の閲覧スペースだけではなく、雁行した壁を活かした外に見える半個室のようなスペースも設け、オープンな場所、隠れ家のようにこもれる場所など、利用者がそれぞれお気に入りのスペースを見つけて本と共に過ごせるようにしました。

■ R-T工法を採用し防水に完璧な配慮を

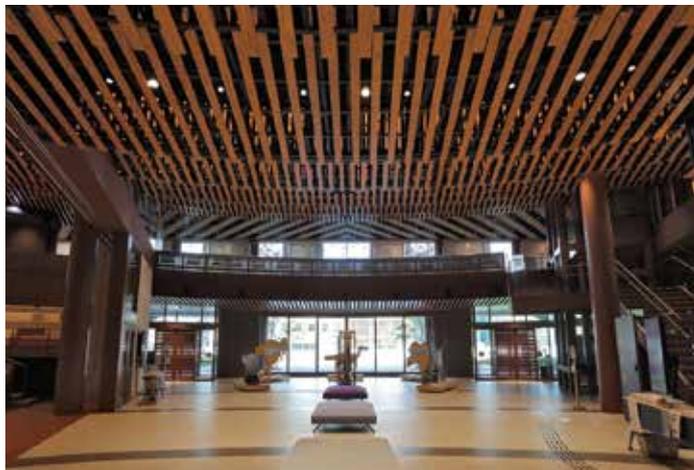
金沢は冬季の積雪はもちろん、1年を通して雨も多い地域です。本は決して濡

らしてはいけないことから、防水には細心の注意を払い、グレートホール上部の屋根は三晃金属工業(株)のステンレスシート防水であるR-T工法を採用しました。

車で来館者が多く、本を手に持ったまま移動することも考えられるため、すぐに庇の下に入れるように外周部のキャノピー上部にも同様にR-T工法を採用しています。防水に対する配慮を完璧にしたいという意図がありました。



吹き抜けのグレートホール上部に架かるブリッジ。柱のない空間を実現した屋根の架構



屋外広場からつづく屋内広場。エントランスとイベント空間を兼ねる



窓辺の閲覧席。雁行する外壁の間から自然光の入る半開放的な空間

(写真下2点：大野 繁)

■地域へのコミュニティ施設としての役割

この図書館は、図書館の機能に加えて、文化活動の拠点としての役割も求められました。したがって入り口すぐのホール部分の1階、2階には、講習会や研修会、打ち合わせ、体験学習などに利用できる多種多様な交流空間を配置しました。

南側のエントランスを入ったところに設けた屋内広場は、正面のシンボルになる屋外広場と連続していて一体的に使う

ことも可能です。ここではイベントが催されたりマルシェが行われたり、さまざまなことに利用されています。また、屋内広場の一角につくった「だんだん広場」は、さまざまなイベントや催しに活用されています。

そして外部は季節を感じられる緑に囲まれるよう、正面の屋外広場をはじめ、1階の子どもエリアに隣接した「おはなしの森」、カフェに隣接した「読書の庭」

などを設けていて、開放的に使用できるよう考えました。

来館者数は多い日で1日5,000人を超え、中には1日8時間以上滞在する人もいるという話も聞きます。老若男女、訪れる人がそれぞれ目的のスペースで思い思いに過ごす姿が目につかび、とても嬉しく思います。



鉄骨に野地板敷き込み



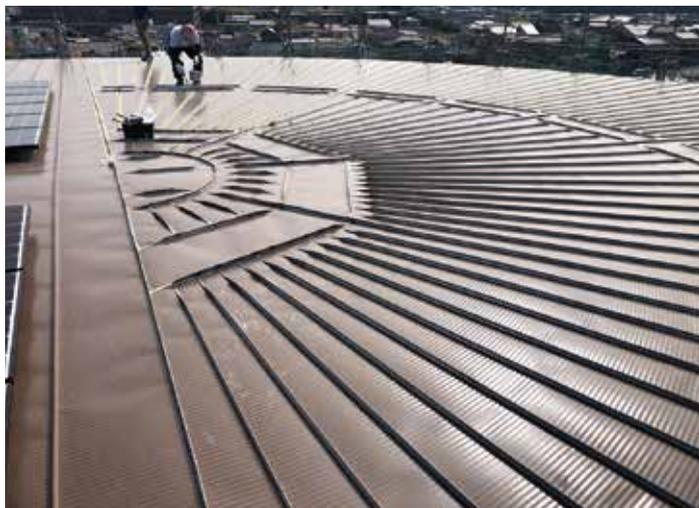
防湿材敷き込み



R-T 屋根材成型の様子



扇形部分溶接の様子



扇形部分施工の様子

■施工に携わって

三晃金属工業(株) 北陸営業所

石川県立図書館では、グレートホール上部の屋根と、外周部のキャノピー部分の屋根にR-T工法を採用いただきました。

R-T工法は専用溶接機で連続溶接することで完全一体型の防水面を形成します。ステンレスは柔らかく加工に自由がきくため複雑な形状にも可能で、基材に耐食性の高いステンレスを使用していることから半永久的に使用できるという特長もあります。

ステンレスの溶接には高い技術が求められるため、当社の中でもR-T工法の施

工者は当社が認定する資格が必要です。

円形屋根の外側の部分は深谷製作所で成型し、馳も付いた状態で搬入され、真ん中の扇形の部分と半円形の部分は、ある程度成型加工したものを、細かいところは現場に合うように職方さんが手作業で丁寧に納めていきました。そのため作業期間は2ヵ月程度かかりましたが、作業期間中は雨が内部に入らないように、養生に細心の注意を払いながら作業を進め、きれいに仕上がりました。

■建築概要

所在地	石川県金沢市小立野2-43-1
建主	石川県
敷地面積	32,878.21㎡
建築面積	7,290.82㎡
延床面積	22,720.81㎡
構造規模	鉄骨造+鉄骨鉄筋コンクリート造+鉄筋コンクリート造 一部CFT造 地下1階、地上4階、塔屋1階
屋根仕様	R-T工法/フェライト系フッ素樹脂 ステンレス鋼板 (NSSC220M) t=0.4mm 1,125㎡
設計	仙田満+環境デザイン研究所 石川県土木部営繕課
施工	清水・豊蔵・表・寺井・双建特定建設工事共同企業体 ほか
竣工	2022年

矢川複合公共施設新築工事

▶ Web 版にてドローンによる空撮動画を掲載しています



所在地：東京都国立市
 設 計：(株)環境デザイン研究所
 施 工：(株)イズミ・コンストラクション



製品仕様

【屋根】立馳SX-40(化粧キャップ)(テーバー加工)／カラーガルバリウム鋼板 t=0.5mm 975㎡
 美段ルーフ9／カラーガルバリウム鋼板 t=0.5mm 94㎡
 折版F-80／カラーガルバリウム鋼板 t=0.8mm 45㎡
 【外壁】サイディングハイシャドー／カラーガルバリウム鋼板 t=0.6mm 342㎡

POINT

扇型の屋根が段差状になっています。外壁の鈍角出隅コーナーを外壁の形状に合わせて加工し、一体感のある仕上がりとなっています。

コーチャンフォーつくば新築工事



所在地：茨城県つくば市
 設 計：清水建設(株)一級建築士事務所
 施 工：清水建設(株)



製品仕様

【屋根】ハイタフEG／エチレンプロピレンゴム系 t=1.52mm 6,071㎡
 一文字葺／カラーガルバリウム鋼板 t=0.4mm 205㎡
 【外壁】サイディングS／カラーガルバリウム鋼板 t=0.4mm 638㎡

POINT

大屋根部は防水性・断熱性の高いハイタフEGを採用いただきました。ドーム部は1枚ずつ特寸加工をした一文字葺で、R形状に仕上げています。



Web 版では製品名をクリックすると該当の製品ホームページへ移行します。

足立区西新井店舗計画

所在地：東京都足立区
 設計：(有)永山祐子建築設計
 施工：TC 神鋼不動産建設(株)



製品仕様

【屋根】R-T 工法 / チタン発色カラー DN20 t=0.4mm 156㎡
 立馳 SX-40 / カラーガルバリウム鋼板 t=0.5mm 789㎡

POINT

1階庇屋根にチタン発色カラーを使用しており、見る時間帯や角度により、色がさまざまに変化します。陽の光を受けて表情を変えるというコンセプトに沿った材質として採用いただきました。

新清洲児童センター新築工事

所在地：愛知県清須市
 設計：(株)黒川建築事務所
 施工：名工建設(株)



製品仕様

【屋根】美段ルーフ9 / フッ素樹脂ガルバリウム鋼板 t=0.5mm 498㎡
 美段ソーラー364 (kw) 256枚

POINT

美段ソーラー364を採用いただきました。美段ルーフの働き幅と、太陽光パネルの幅を合わせており、一体感のある見た目になっています。大屋根・下屋根共に美段ルーフ9により、横ラインを強調した意匠です。



Web版では製品名をクリックすると該当の製品ホームページへ移行します。

信越線新潟駅付近高架化駅舎新設2期工事

所在地：新潟県新潟市中央区
 設計：(株)JR東日本建築設計
 施工：鉄建建設(株)JV



撮影：佐武浩一

製品仕様

【屋根】折版F-200Ⅱ型(ダブルバック)上弦材／フッ素樹脂ガルバリウム鋼板 t=0.8mm 1,499㎡
 丸馳折版Ⅱ型(ダブルバック)下弦材／カラーガルバリウム鋼板 t=0.6mm 1,499㎡

POINT

折版F-200Ⅱ型と丸馳折版Ⅱ型を組み合わせたダブルバックです。カービング加工を施したアーチ状の屋根形状です。下弦材は逆成型を行い、ホームから見上げた時の意匠を考慮しています。

LRT 車両基地検修庫新築工事

所在地：栃木県宇都宮市
 設計：(株)トーニチコンサルタント・(株)綜企画設計JV
 施工：暁・柴田・上陽JV



製品仕様

【屋根】丸馳折版Ⅱ型(ダブルバック)上弦材／カラーガルバリウム鋼板 t=0.8mm 4,213㎡
 丸馳折版Ⅱ型(ダブルバック)下弦材／NS耐酸被覆鋼板 t=0.8mm 4,213㎡

POINT

LRT(次世代型路面電車システム)の車両検査・整備を行う建屋です。下弦材の鋼板にはNS耐酸被覆鋼板を採用いただき、耐候性・耐熱性・耐薬品性に優れた室内環境を実現しています。



Web版では製品名をクリックすると該当の製品ホームページへ移行します。

SUBARU 矢島工場新完成検査棟 (5VIC 棟)

所在地：群馬県太田市
 設計：清水建設(株)一級建築士事務所
 施工：清水建設(株)



製品仕様

【屋根】丸馳折版Ⅱ型(ダブルバック)上弦材／ガルバリウム鋼板 t=0.8mm 8,908㎡
 丸馳折版Ⅱ型(ダブルバック)下弦材／ガルバリウム鋼板 t=0.6mm 8,908㎡

POINT

既存棟と隣接しており、限られた敷地条件の中で、桁行250mの屋根材を現場成型しました。

明和工業株式会社 工場新築工事

所在地：岐阜県多治見市
 設計：日鉄エンジニアリング(株)
 施工：日鉄エンジニアリング(株)



製品仕様

【屋根】丸馳折版Ⅱ型(ダブルバック)上弦材 t=0.8mm 4,517㎡
 丸馳折版Ⅱ型(ダブルバック)下弦材 t=0.6mm 4,517㎡
 ハイタフEG／ハイタフEG t=1.52mm 1,820㎡
 【外壁】イソバンドBL-H／カラーガルバリウム鋼板 t=25mm 2,546㎡
 サイディングハイシャドー／カラーガルバリウム鋼板 t=0.6mm 1,440㎡
 サイディングS／カラーガルバリウム鋼板 t=0.5mm 1,010㎡

POINT

大屋根は丸馳Ⅱ型ダブルバックとハイタフEGの複合屋根です。外壁はイソバンドと意匠性の高いサイディングハイシャドーを採用いただきました。飾り壁に色分けしたハイシャドーはコントラストがきれいな外観になっています。



Web版では製品名をクリックすると該当の製品ホームページへ移行します。

日本ファブテック熊谷工場事務所新築工事

所在地：埼玉県熊谷市
 設計：清水建設(株)
 施工：清水建設(株)



撮影：ワタナベスタジオ

製品仕様

【屋根】丸馳折版Ⅱ型(ダブルバック)(ラジアル加工)上弦材/ガルバリウム鋼板 t=0.8mm 1,588㎡
 丸馳折版Ⅱ型(ダブルバック)(ラジアル加工)下弦材/ガルバリウム鋼板 t=0.6mm 1,588㎡
 【外壁】サイディングS/カラーガルバリウム鋼板 t=0.6mm 712㎡

POINT

ラジアル加工ならではの意匠性を活かした建物です。屋根と外壁で色のコントラストがはっきりしており綺麗な仕上がりとなっています。

株式会社スドージャム安曇野工場新築工事

▶ Web 版にてドローンによる空撮動画を掲載しています



製品仕様

【屋根】丸馳折版Ⅱ型(ダブルバック)上弦材/カラーガルバリウム鋼板 t=0.8mm 9,003㎡
 丸馳折版Ⅱ型(ダブルバック)下弦材/ガルバリウム鋼板生地 t=0.6mm 9,003㎡
 立馳SX-40/カラーガルバリウム鋼板 t=0.5mm 205㎡

POINT

丸馳折版Ⅱ型の屋根は、長さが60mありますが、施工時の横持移動を減らすために、地上成型した屋根材を1枚ずつレッカーにて揚重し、屋根葺きを行いました。目隠し壁の立馳SX-40は、急勾配の短尺ですが、エアシーマーを用いて馳締を行っています。



Web 版では製品名をクリックすると該当の製品ホームページへ移行します。

株式会社豊島屋 (仮称) 菓子工房建設工事

所在地：神奈川県鎌倉市
 設計：鹿島建設(株)
 施工：鹿島建設(株)



製品仕様

【屋根】立馳 SX-40 / カラーガルバリウム鋼板 t=0.5mm 1,353㎡

POINT

切妻の立馳SX-40により縦のラインが際立つ意匠と、0.5mmの板厚で、歪みの少ない仕上がりとなっています。

内外テクノス本社工場 建替計画

所在地：埼玉県ふじみ野市
 設計：(株)大林組
 施工：(株)大林組



製品仕様

【屋根】(工場棟)立馳 SX-40 @ 340 (キャップレス) / カラーガルバリウム鋼板 t=0.6mm 6,030㎡
 (工場棟)ハイタフEG / エチレンプロピレンゴム系 t=1.52mm 2,077㎡
 (工場棟)エックスロン防水 / エックスロン鋼板 t=0.6mm 182㎡
 (事務所棟)立馳 SX-40 @ 327.3 (化粧キャップ) / カラーガルバリウム鋼板 t=0.6mm 926㎡
 【外壁】(事務所棟)立馳 SX-40 @ 327.3 (化粧キャップ) / カラーガルバリウム鋼板 t=0.6mm 279㎡

POINT

左側手前にある事務所棟の屋根・外壁は、働き幅327.3mmというシビアな割付に対応しています。腰折れ部分を直線的に見せるため、既製品ではなく加工品で併せて意匠性を重視しています。



Web版では製品名をクリックすると該当の製品ホームページへ移行します。

興国インテック株式会社 大浜第二工場メディカル第一棟新築工事

所在地：静岡県掛川市
 設計：木内建設(株)一級建築士事務所
 施工：木内建設(株)



製品仕様

【屋根】工場棟：ハイタフEG／エチレンプロピレンゴム系 $t=1.52\text{mm}$ 6,712㎡
 事務所棟：丸馳折版Ⅱ型(ダブルパック)上弦材 板鳴り低減工法／カラーガルバリウム鋼板 $t=0.8\text{mm}$ 1,604㎡
 事務所棟：丸馳折版Ⅱ型(ダブルパック)下弦材／ガルバリウム鋼板 $t=0.6\text{mm}$ 1,604㎡
 風除室：エックスロン防水／エックスロン鋼板 $t=0.6\text{mm}$ 107㎡
 吊底：ルーフデッキ／ガルバリウム鋼板 $t=0.8\text{mm}$ 456㎡

POINT

工場棟には、断熱性能の高いハイタフEGによる防水工法を、事務所棟には、環境に配慮した太陽光発電設備の設置のため、丸馳Ⅱ型のダブルパック工法(板鳴り低減工法)を採用いただきました。共に屋根色を白色として熱反射効果も考えられています。

(仮称) 旭金属工業株式会社 安八南工場新築工事

所在地：岐阜県安八郡安八町
 設計：(株)東畑建築事務所
 施工：TSUCHIYA(株)



製品仕様

【屋根】美段ルーフ15／カラーガルバリウム鋼板 $t=0.4\text{mm}$ 997㎡
 ハイタフEG／ハイタフEG $t=1.52\text{mm}$ 316㎡
 立馳スピードロック／カラーガルバリウム鋼板 $t=0.4\text{mm}$ 30㎡
 【外壁】耐火イソバンドPro／フッ素樹脂ガルバリウム鋼板 $t=75\text{mm}$ 5,700㎡

POINT

外壁は耐火イソバンドProで施工しておりスタイリッシュな外観です。屋上屋根には建物のアクセントに横葺の美段ルーフ15を採用いただきました。



Web版では製品名をクリックすると該当の製品ホームページへ移行します。

三井不動産ロジスティクスパーク海老名 1 新築工事

所在地：神奈川県海老名市
 設計：日鉄エンジニアリング(株)
 施工：日鉄エンジニアリング(株)



製品仕様

【屋根】丸馳折版Ⅱ型(ダブルバック)上弦材/ガルバリウム鋼板 t=0.8mm 22,311㎡
 丸馳折版Ⅱ型(ダブルバック)下弦材/ガルバリウム鋼板 t=0.6mm 22,311㎡

POINT

長さ 120m の屋根材は、棟部を自然曲率として継手をなくした設計になっています。

倉庫建設工事

所在地：神奈川県
 設計：三井住友建設(株)
 施工：三井住友建設(株)



製品仕様

【屋根】丸馳折版Ⅱ型/カラー高耐食性ガルバリウム鋼板 (SGL) t=0.8mm 15,939㎡
 【外壁】サイディングL/カラー高耐食性ガルバリウム鋼板 (SGL) t=0.5mm 1,542㎡

POINT

海が真横にあり、材質には高耐食性ガルバリウム鋼板を採用いただきました。急勾配屋根の長尺折版を地上から屋根頂部まで継手無しで施工しており、迫力ある仕上がりとなっています。



Web 版では製品名をクリックすると該当の製品ホームページへ移行します。

株式会社LIXIL 研究開発棟

所在地：愛知県常滑市
 設計：(株)伊藤設計
 施工：戸田建設(株)



製品仕様

【屋根】サンコースライダー25／厚膜ウレタンガルバリウム鋼板 t=0.5mm 8,245㎡

【外壁】サイディングF／厚膜ウレタンガルバリウム鋼板 t=0.5mm 8,000㎡
 リボンウォール(一部)

POINT

スレート改修のため、屋根にはサンコースライダー25、外壁の一部には環境に配慮したリボンウォールを採用いただき、カバー工法で改修しました。意匠性を考慮したボルトレスの外壁サイディングFは、3色の鋼板で色分けされ、外観も特徴的となっています。

小岩金網株式会社 愛知小牧工場屋根改修工事

所在地：愛知県小牧市
 施工：三晃金属工業(株)



製品仕様

【屋根】サンコーステップ68／カラーガルバリウム鋼板 t=0.5mm 1,260㎡
 錆止め：サンシルバークライマー(既設屋根面)／サンシルバークライマー
 渡り屋根：ハイタフEG／エチレンプロピレンゴム系 t=1.52mm 141㎡
 錆止め：サンシルバークライマー(既設屋根面)／サンシルバークライマー

POINT

外からは見えませんが、既設屋根面に錆止め塗料(サンシルバークライマー)を塗装して鋼板腐食の進行を抑え、その上からサンコーステップ68でカバー改修しています。



Web版では製品名をクリックすると該当の製品ホームページへ移行します。

桑名駅改築



製品仕様

【屋根】折版W-500(吊工法)／フッ素樹脂ガルバリウム鋼板 t=0.8mm 1,034㎡

エクスロン防水／エクスロン鋼板 t=0.6mm 278㎡

【外壁】美段パネル35／フッ素樹脂ガルバリウム鋼板 t=0.4mm 576㎡

所在地：三重県桑名市

設計：ジェイアール東海コンサルタンツ(株)

施工：名工建設(株)



POINT

駅舎各所の改築工事です。特に駅舎の外壁に採用いただいた「美段パネル」が特徴的です。出隅の化粧面戸納め、サッシ廻りの目地納め等、デザイン性の高い建物です。

甲府駅下り乗降場上家ほか2箇所屋根改修工事



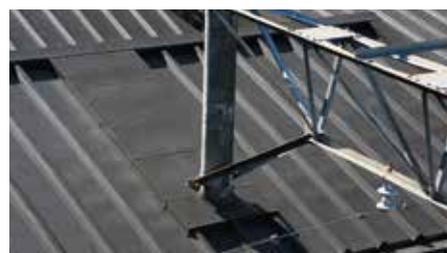
製品仕様

【屋根】折版F-80／フッ素樹脂ガルバリウム鋼板 t=0.8mm 1,559㎡

所在地：山梨県甲府市

設計：東日本旅客鉄道(株)

施工：東鉄工業(株)



POINT

既存スレートの屋根を葺き替えし、山高の低いスッキリした折版の仕上がりとなって生まれ変わりました。



Web版では製品名をクリックすると該当の製品ホームページへ移行します。



動画

地上からはなかなか見ることができない屋根にクローズアップしたカットを動画でご覧いただけます。



No.325 カトリック西町教会屋根改修工事



No.325 福山市立伊勢丘こども園



No.325 ワクキューセイモア株式会社
近畿支店 りんくう工場



No.326 双葉町仮設庁舎建設工事



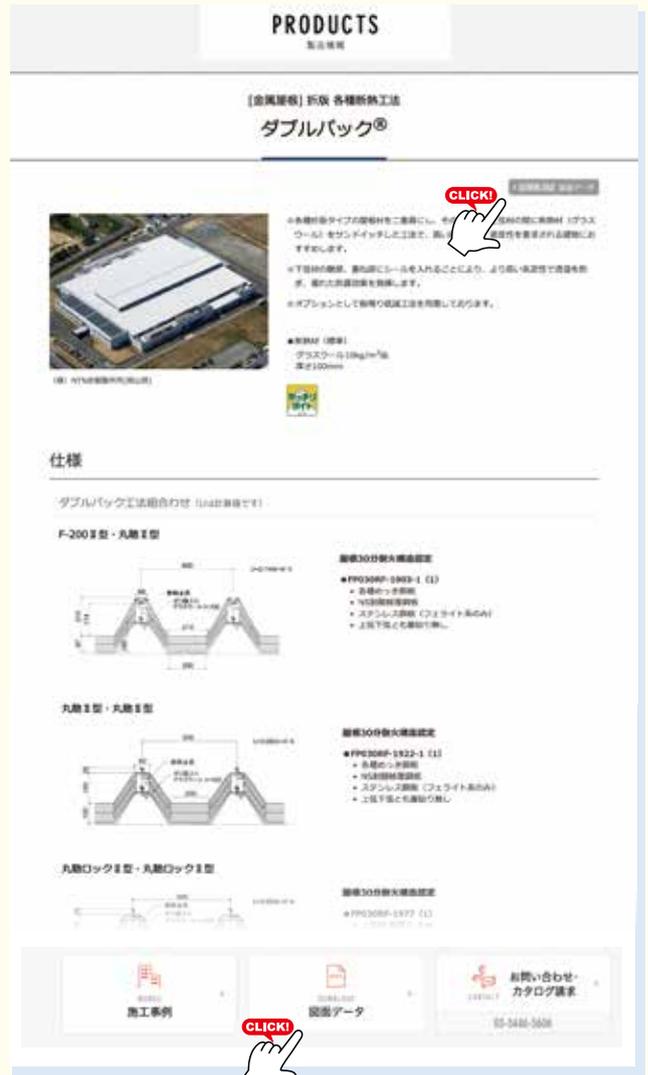
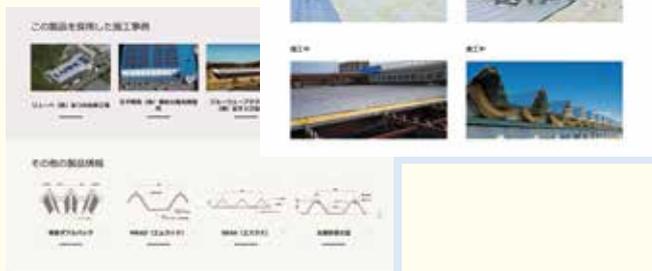
No.326 DPL 利府新築工事

CADデータ

施工事例の製品名(水色)をクリックすると、製品情報ページへ。図面(CAD)データもダウンロードいただけます。



施工手順、施工事例もご覧いただけます。





技術開発センターの試験設備……オートグラフ (万能試験機)

素材から屋根構成部材まで、
幅広く万能な試験ができます



——この装置でどのような試験ができますか。

上下に動くクロスヘッドと固定されたテーブルの間に試験体を設置して圧縮力や引張力を作用させることができます。

クロスヘッドに挟み込み用のチャックを取り付け、テーブルに鋼材治具などで試験体を固定すれば、引張試験ができます。

圧縮試験を行うときは、チャックの代わりに圧縮台座を取り付けます。

——なぜ万能試験機なの？

この装置の原形はアムスラー型万能試験機といわれる試験装置で、全国の大学や試験所などには必ずあるといわれるぐらい普及していた試験装置です。建築や土木といった分野でコンクリートや鉄筋などの試験が定番となっており、油圧を使った機構でヘッドとテーブルがクロスヘッドを挟んで上下し、引張・圧縮試験を行うことができます。

当社でも対象とする試験は非常に幅広く、鋼板素材の引張強度から、鋼材・木材等に打ち込む釘やドリルねじ、折版に用いるタイトフレームや断熱金具など、多種多様な部材の性能を確認する試験に用いています。

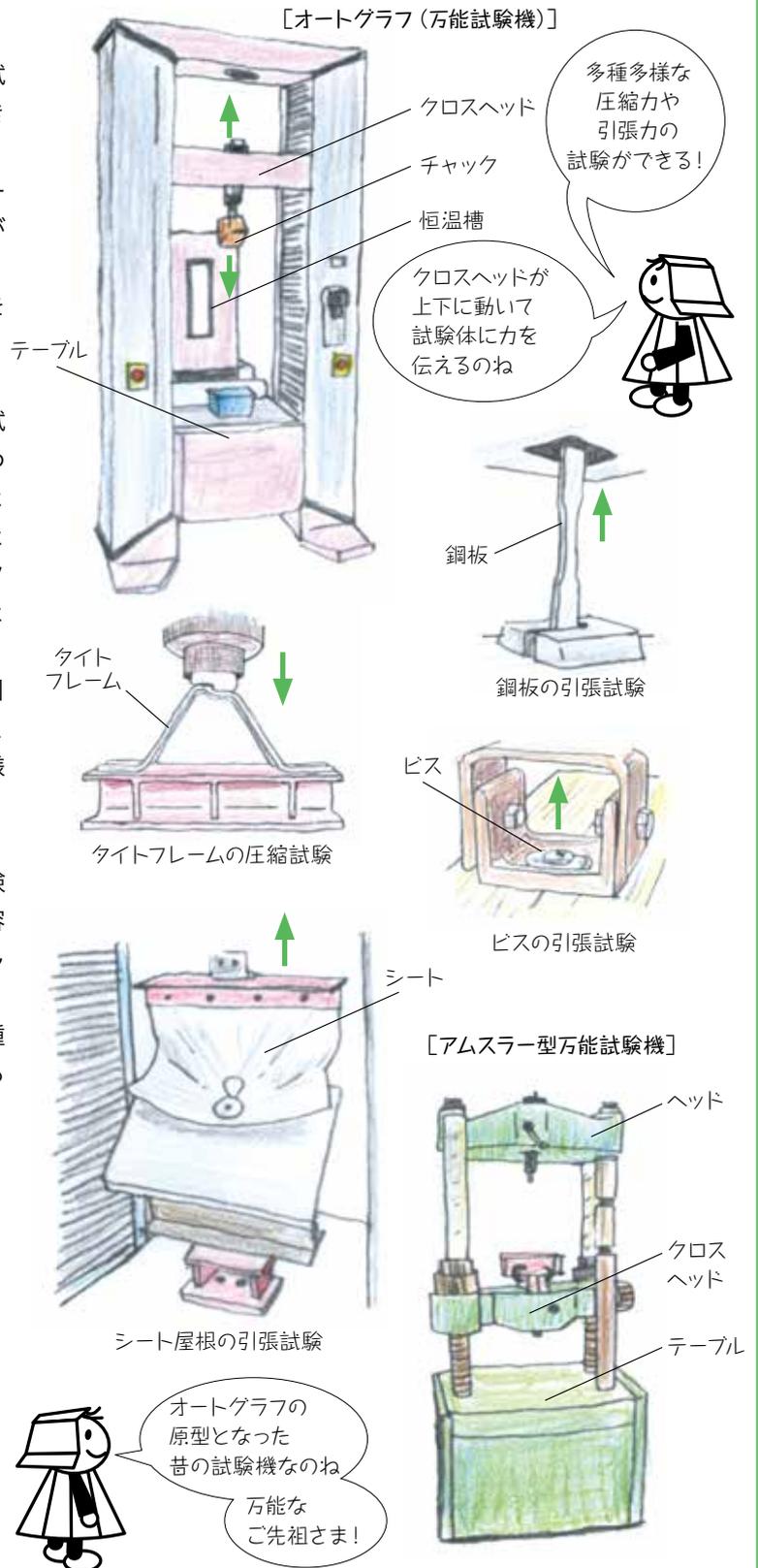
——小さなものしか試験できないのでは？

部材だけでなく、屋根材を組み合わせた構成体での試験も可能です。荷重も最大100kN (≒10トン) と十分な容量があり、恒温槽を使って温度制御をしながら繰り返し加力を与えることもできます。

SSR2007 (鋼板製屋根構成法標準) に示される折版の各種試験 (二重葺き折版) など、多少大きな試験体の評価もでき、用途の広い試験装置です。



二重葺き折版



街の顔、環境の顔となる シルエットを意識した建築を考える

藤原徹平さん (フジワラテツペイアーキテクトラボ)

住宅や公共施設の建築、何期にもわたるプロジェクト、さらに現代アートなどの場の構築にも積極的に関わる藤原徹平さん。今回、新作と進行中のプロジェクトについての考えや、建築と地域のかたち、建築と環境についてうかがいました。

——独立前に在籍した隈研吾事務所ではどんな経験をされたのでしょうか。

隈事務所には12年在籍し、世界中で150くらいの仕事をしてきました。中国やヨーロッパの支店の立ち上げにも関わり、世界中のプロジェクトに隈さんと一緒になって提案し、コンペに負け続けた経験や、コンペに勝ってどうつくるかまで関わることができて、とても中身の濃い時代を過ごしました。日本でも海外でも、公共も民間も、再開発の仕事もして、建築という仕事のほとんどすべてを教してもらい、経験させてもらいました。

——独立後、特に意識していることを教えてください。

地域文化や地域の暮らしを、建築がどう支えられるかを大きなテーマとして意識しています。現在、民間のプレーヤーが地域をつくるような仕事に多く関わっています。きっかけとなった千葉県木更津市の「クルックフィールズ」は、音楽プロデューサーの小林武史さんが、自分の資本で農業や地域を変えていきたいというところから始まりました。けれども実際に民間の個の力で地域を変えるのは大変です。

1つのプロジェクトが、地域の産業や暮らしにどのような影響を与えるかという、交通計画や産業、雇用、福祉にも関わってきます。それは行政の考えと、地域の人の考えとを一緒に進めていかななくてはなりません。



地域がそれまでに描いてきた計画と、個人が思う計画を融合させるという建築以前の部分がすごく重要です。それをやらないと、地域計画とのコンフリクトが生まれて勝手に進めていると思われるでしょう。それは公共建築であろうとなかろうと一緒にです。

今後我々は、日本でどのような地域のかたち、都市のかたちを描いていくのかを考えなければいけないと思います。そのときに建築だけではなく、都市計画や土木計画と一緒にどのようなかたちをつくるかという議論が必要だと思います。都市計画も土木計画も20世紀のようにモデルがあって、横展開する時代ではありません。

「クルックフィールズ」では農業を中心に、そこからさまざまなものを派生させていく計画でした。木更津市は理解があって、地区計画として農業特区を認めてくれ、劇場や集合住宅、幼稚園など可能性のある施設も計画に盛り込んでいます。ただ、どれをやるかはまだ分かりません。僕以外の建築家が選ばれても確認

申請を出せるように下ごしらえをしています。

——建物の外観と周囲との関係についてはどのように考えていますか。

建物の顔が並んで街ができるから、外観はとても重要です。目立ちすぎる顔が並んでいたり、まったく目立たない無個性の顔が並んでいても困ります。

日本の風景の中で、昔と比べてよくないと思うのは屋根のシルエットです。昔の漁村の写真などを見ると、屋根がきれいですし、街全体のシルエットがきれいです。イスタンブールやローマ、パリも街のシルエットが美しいです。日本ではそういう全体の調和をつくらうと思っている人が減っています。



裏参道テラス (2021)
© Nacása & Partners Inc. FUTA Moriishi



クルックフィールズ (2019)

© Yurika Kono

隈事務所でも街をつくるいろいろな経験をさせてもらいましたし、今の自分の仕事においても、プロジェクトの大小にかかわらず、街としての顔、環境としての顔となるシルエットはすごく大事にしています。

——中高層の建築でもシルエットを意識していますか。

どんな建築でもシルエットが重要です。日本建築において、どんなに高層化しても忘れてはいけないことだと思います。超高層になると中層、低層をどうつくるかでシルエットを意識します。特に日本は都市の裏に山が見えるので、山のシルエットとの調和は必要だと思います。

京都・東山で進行中のプロジェクトでは、京都市から「東山が応答すべき環境のかたちを京都の人は誰もが理解している」と強く言われました。建築の形だけではなく質の問題を厳しく問われる経験は日本では初めてだったので、京都はいい社会だと思います。それに対して建築家はより深く感性豊かに考えなくてはいいけません。建築がその街にどう合っているか説明する機会をいただくことは、

我々にとっても計画を改めて見直すチャンスになります。建築は建築家が一方的に考えるのではなく、建築主が問い、建築家がそれに対して応えることがすごく重要です。

神戸市の某駅前で進行中の図書館のプロジェクトは、広場が重なるという提案でコンペに勝ちました。多正面も大きなテーマとしています。狭い広場の中でみんなが四方八方から建物にアプローチするのなら、どこも正面でなければ成り立ちません。そうすると自ずと建物のシルエットも多正面的となり、屋根もきれいでないといけません。

そういう議論をする中で、周囲の高層マンションに住む人にとっても、環境の面でも美しく光も反射しにくく錆にも強い屋根を検討しました。そしてさまざまな素材の中から、ここではステンレスの屋根を選びました。

いろいろ問われることで、建築がどの素材でどうつくられるかがより明確になってきます。

——金属屋根についてどのように考えていますか。

金属屋根の中でも、ステンレスシーム溶接は、楨文彦さんが東京体育館や幕張メッセで使った、私にとってあこがれの素材・工法であり、建築家としていつか使ってみたいものです。

——最後に、建築・デザインについて考えていることを教えてください。

建築のデザインは、建築主が依頼した建築の価値を上げる技です。それを建築家が行うことによって、建築主は宝物を手に入れることができ、価値が高まるわけです。

今、地域は苦しんでいて、東京一極集中に対してどうあらがうか各地でチャレンジしています。建築家としてはそういうグローバルではないプレーヤーに対して、建築のデザインの技術を使いたいと思っています。

——ありがとうございました。

藤原徹平 (ふじわら・てっぺい)

1975年 横浜生まれ

1998年 横浜国立大学卒業

2001年 横浜国立大学大学院修了

2001-12年 隈研吾建築都市設計事務所勤務

2012年- 株式会社フジワラテッパイアーキテクトラボ設立。主宰。

2012年- 横浜国立大学大学院 Y-GSA 准教授



三晃金属工業は 屋根のことを毎日 考えています。



金属製長尺屋根を世に送り出してから半世紀以上、皆さまの暮らしを支える屋根をより良いものにするために、私達は来る日も来る日も屋根のことを愚直に考え、こだわり続けてきました。

こだわりのひとつは「丸馳折版」。

その「版」は一体化をなす平面（例えばRC床面など）を意味します。当社は、長スパン架構可能な金属製の折版構造として開発。したがって当社の製品名は全て「板」ではなくあえて「版」の字を使用しています。

「丸馳」の「丸」にも理由があります。

屋根材同士の接合部を丸型とし、密着させずにエアポケットを設けることで、雨水などを吸い上げる「毛細管現象」を防ぐ機能を持たせています。また、円形は力を分散して均一に負担できるため、強度面でも優れています。

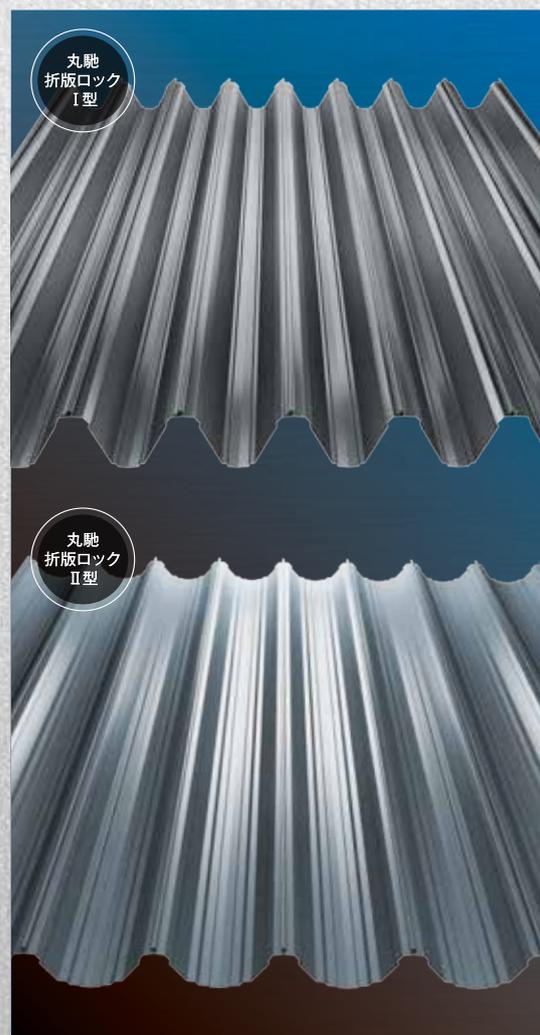
丸馳折版は近年の台風の大型化や建物の高層化に合わせて、耐風圧強度を各段に高めた「丸馳折版ロックシリーズ」に進化しています。

街のランドマークから暮らしのそばにも

新築もリニューアルも

今までも これからも 屋根にできることを

三晃金属工業株式会社



本社 〒108-0023 東京都港区芝浦4-13-23 MS芝浦ビル11F
TEL:03-5446-5600(代表) <http://www.sankometal.co.jp/>

